

第2章 調査の結果

2.1. 調査対象分野の明確化

調査対象分野は、休眠預金等活用法における3分野とした。

図表 6 休眠預金等活用法における3分野（法17条第1項）

	分野
①	子ども及び若者の支援に係る活動
②	日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
③	地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動
(④：①～③に準ずるものとして内閣府令で定める活動)	

2.2. ウェブページ等による ICT ツールの洗い出し

ウェブページ等により ICT ツールを洗い出し、一覧表を作成した。洗い出しの方法は、下記の2通りである。

- ① 社会的インパクト評価に関する情報が集約されているウェブページ等から検索する
- ② 有識者へヒアリングをすることで、重要な漏れや誤りがないかを確認する

① 社会的インパクト評価に関する情報が集約されているウェブページ等から検索する

社会的インパクト評価イニシアチブ¹、G8 社会的インパクト投資タスクフォース²、英国 Inspiring Impact などの社会的インパクト評価に関する知見が集約されているウェブサイトから検索した他、論文からの広範囲な検索を実施した。

また、下記図表 7 のウェブサイト参照した上で、「(社会的 (Social)) インパクト評価 (Impact evaluation/Impact measurement)」、「データ収集 (Data collection)」、「モバイル (Mobile)」、「ツール (Tool)」等の用語を組み合わせた論文検索を実施し、発行年数が 2008 年以降かつ引用数が 2 件以上のものを採用した。

図表 7 社会的インパクト評価に関する知見が集約されているウェブページ

ウェブサイト名	運営機関
社会的インパクト評価イニシアチブ (Social Impact Measurement Initiative: SIMI)	SIMI 共同事務局
Global social impact investment steering group	The Global Social Impact Investment Steering Group (GSG)
Social Value Tools and Software Directory ³	Social Value Network UK, LBG
Inspiring Impact	複数組織 (ACF, Building Change, NCVO, NPC 等)
International Initiative for Impact Evaluation ⁴	International Initiative for Impact Evaluation (3ie)
BetterEvaluation ⁵	the Australia and New Zealand School of Government (中核団体として)
デジタル・データ収集アプリケーション ⁶	一般社団法人コペルニク・ジャパン

¹用語集 No.24 参照

²用語集 No.6 参照

³Social Value Network UK ウェブページ <http://www.socialvalueuk.org/resources/software-directory-2/>

⁴International Initiative for Impact Evaluation ウェブページ <http://www.3ieimpact.org/en/> (拠点はインドニューデリ, 英国ロンドン, 米国ワシントン D.C.)

⁵BetterEvaluation ウェブページ <http://www.betterevaluation.org/> (拠点は豪州メルボルン)

⁶一般社団法人コペルニクジャパンウェブページ「デジタル・データ収集アプリケーション」<http://impacttrackertech.kopernik.info/ja/> デジタル・データ収集アプリケーション

②有識者へヒアリングをすることで、重要な漏れや誤りがないかを確認する

前記①の方法で一覧表を作成した上で、重要な漏れや誤りがないか、有識者に確認を取り、追加の意見を得た。

上記の結果、以下図表 8 のとおり 46 件の ICT ツールを検出した。

図表 8 ウェブページ等による ICT ツールの洗い出し結果（順不同）

No.	ICT ツール名	ICT ツール提供者	所在地
1	Sinzer	Sinzer B.V.	オランダ
2	Social Suite	Coral Harbour Pty Ltd.	豪州
3	SAMETRICA	SAMETRICA, Inc.	カナダ
4	KI-Projects	Kimetrica International Ltd.	米国、コロラド、ケニア、エチオピア
5	newdea	Newdea、株式会社ファンドレックス	米国、日本
6	Global Value Exchange	Social Value Network UK, LBG	英国
7	Outcomes Matrix 等	Big Society Capital Ltd.	英国
8	B analytics	B-Lab, Inc.	米国
9	Salesforce	株式会社セールスフォース・ドットコム	米国、日本
10	Social Profit Calculator	Social Profit Calculator	英国
11	Unit cost database	Cabinet Office	英国
12	Outcome Rate Card	Social Finance	英国
13	Sensemaker	Cognitive Edge	シンガポール、米国、英国
14	ixo foundation	ixo foundation	スイス
15	Thirdbridge	Sector Bridge Ltd.	英国
16	APRICOT	The Gallery Partnership	英国
17	taro Works	taro Works	米国
18	Social Value Self Assessment Tool	Social Value Network UK, LBG	英国
19	VV-Impact Tracker	Vertigo Ventures	英国
20	TOCO2.o	Center for Theory of Change	米国
21	Measuring Up!	Impact inspiring	英国
22	viewworld	viewworld	デンマーク
23	iFormBuilder	Zerion Software	米国
24	magpi	magpi	米国
25	SurveyCTO	Dobility	米国、インド
26	DataWinners	DataWinners	米国
27	Mobenzi Researcher	Mobenzi	南アフリカ
28	Ona	Ona Systems	ナイロビ、ケニア
29	FieldCenter (cortex software)	Cortex Software	カナダ
30	CommeCare	Dimagi, Inc	米国
31	Impact Evaluation Toolkit	世界銀行	米国
32	The Impact Trucker Technologies catalogue	コペルニク	米国、インドネシア、日本
33	Impact Hub	Inspiring Impact	英国
34	Social Value Software Directory	Social Value Network UK, LBG	英国
35	Value Insight	Social Value Bank	英国
36	The Youth Development impact Learning System	Algorithm	米国
37	TTC Mobile	TTC Mobile	ウガンダ、オランダ、ボリビア
38	Doforms.com	Doforms.com	米国

39	Standards navigator	B-Lab	米国
40	AKVOFLOW	AKVOFLOW	オランダ
41	iPAR	iPAR	豪州
42	GIIRS (Global Impact Investment Rating System)	B-Lab	米国
43	Navigating Impact	GIIN	米国
44	SoPact The Impact Cloud™	SoPact	米国
45	IRIS Metrics	GIIN	米国
46	Lean Data	Acumen	米国

2.3. 調査対象とする ICT ツールのサンプル抽出

ウェブページ等による ICT ツールの洗い出しの結果として検出された 46 件の ICT ツールのうち、調査対象とする ICT ツール 10 件を下記図表 9 の観点に則り、抽出した。下記図表 9 の抽出の観点は有識者との意見交換を踏まえて設定した。なお、本抽出は ICT ツールの優劣を示すことを意図するものではない。

2.3.1. ICT ツール抽出の観点の設定

調査対象とする ICT ツール抽出の観点は、有識者との意見交換を踏まえ、下記図表 9 の A-F の 6 つのいずれかを満たすものとした。

図表 9 調査対象とする ICT ツール抽出の観点

観点		理由
A	我が国で導入実績があるもの	我が国でニーズや課題を実地に基づいた知見から抽出するため
B	休眠預金等の活用において既に海外で利用されているもの	休眠預金等の活用に即した事例を抽出するため
C	ICT ツールとしての機能をより多くカバーしているもの	社会的インパクト評価のプロセスを網羅するため
D	資金情報も含めて評価が行える機能があるもの	資金提供側の観点を漏らさないため
E	ICT ツールとしての機能に特性があるもの、データベースとして機能するもの	アウトカム項目を多く網羅するなどのデータベース機能を調査するため
F	ユーザー数が多いもの（確認できる範囲）	信頼性の担保及びニーズがあるものを調査するため

2.3.2. ICT ツールのサンプル抽出

上記図表 9 の観点に則り、有識者との意見交換を踏まえ、調査対象とする ICT ツールを下記図表 10 のとおり 10 件サンプル抽出を行った。なお、本抽出は ICT ツールの優劣を示すことを意図するものではない。

図表 10 調査対象としてサンプル抽出した ICT ツールとその理由

ICT ツール名	提供事業者名	抽出の理由
newdea	Newdea、株式会社フ アンドレックス	観点 A：我が国で導入実績があるもの
Salesforce	株式会社セールスフ ォース・ドットコム	観点 A：我が国で導入実績があるもの
Outcomes Matrix 等	Big Society Capital Ltd.	観点 B：休眠預金等の活用において既に海外で利用されているもの

Sinzer	Sinzer B.V.	観点 C：社会的インパクト評価ツールとしての機能をより多くカバーしているもの
Social Suite	Coral Harbour Pty Ltd.	観点 C：社会的インパクト評価ツールとしての機能をより多くカバーしているもの
KI-Projects	Kimetrica International Ltd.	観点 C：社会的インパクト評価ツールとしての機能をより多くカバーしているもの
SAMETRICA	SAMETRICA, Inc.	観点 C：社会的インパクト評価ツールとしての機能をより多くカバーしているもの
Social Profit Calculator	Social Profit Calculator Ltd	観点 D：資金情報も含めて評価を行う機能があるもの
Global Value Exchange	Social Value Network UK, LBG	観点 E：社会的インパクト評価ツールとしての機能に特性があるもの、データベースとして機能するもの
B analytics	B Lab (NPO)	観点 F：ユーザー数が多いもの（確認できる範囲で確認）

2.4. ウェブページ等による情報収集

ウェブページ等による情報収集は、有識者との意見交換を踏まえ、ICT ツールの調査項目を策定し、調査対象とする ICT ツール 10 件について、ウェブページやレポートより情報収集した。なお、調査結果には有識者による判断に基づくものや、客観的事実との整合性確認ができていないものもあるため、内容の正確性については留意が必要である。

2.4.1. ICT ツールの調査項目の決定

ウェブページ等による ICT ツールの調査項目については、有識者との意見交換を踏まえ、社会的インパクト評価ツールとしての機能面、ICT の機能面に加えて、価格面等、将来的に民間公益活動を行う団体が効率的に社会的インパクト評価を実施できるか等の観点を踏まえて網羅的に検討した。

ウェブページ等による ICT ツールの調査項目は下記図表 11 のとおりである。

図表 11 ウェブページ等による ICT ツールの調査項目

大項目	小項目	詳細
①基本情報	概要	—
	ウェブサイトアドレス	—
	我が国における活用実績	—
②提供会社情報	提供会社	—
	会社概要	—
	設立年	—
	資本金	—
	所在地	—
	パートナー企業	—
③対象分野	重点対象分野	—
	休眠預金等活用法における 3 分野への活用可能性	3 分野に対する適用性
④価格	基本料金	—
	サポート利用料金	サポートに発生するコンサルティング費用など
	その他料金	—
⑤ICT としての機能	使用に必要な専門性	ICT の専門的知識の有無及びその内容
	セキュリティ	—
	他ソフトへの連携機能	—
	デバイスの拡張性	PC、モバイル機器（タブレット・スマートフォン）適用性
⑥社会的インパクト評価ツール	評価に関する教育	社会的インパクト評価に関するガイドラインや研修の提供の有無及びその内容

としての機能	計画	ロジックモデル ⁷ 等（セオリー・オブ・チェンジ ⁸ などのインパクトフレームワーク含む）作成の可否、アウトカム項目・アウトカム指標の提示の有無
	収集・測定	ICT ツール上でのデータ収集の可否
	分析	リアルタイムのデータ更新の有無、自動分析機能の有無
	報告	自動レポート作成の可否
	公開・共有	外部事例へのアクセス、事例収集や他団体とのデータ共有の可否
	サポート	ICT ツール利用のサポートとして提供されるサービス内容
⑦活用実績、 主要ユーザー	ユーザー数	—
	活用地域	—
	主な導入目的	—
	主な立場（資金提供側/需要側）	—
	主な法人形態	—
	主要ユーザー	ウェブページに掲載されている主要ユーザー
	ユーザーからの声	ウェブページに掲載されている主な事例の成果等

2.4.2. ウェブページ等による情報収集

サンプル抽出した 10 件の ICT ツールについてウェブページ等による情報収集を行った。それぞれ調査項目に従い同じ形式でまとめ、下記図表 12 のとおりプロセス網羅型、計画特化型、比較特化型、プロジェクト管理型、費用便益分析特化型に分類整理を行った。また、社会的インパクト評価における機能項目の◎（緑）、○（黄）、—（灰）の根拠一覧を次頁図表 13 に示した。なお、本一覧は ICT ツールの優劣を示すものではない。

なお、デモ画面はダミーデータであり、全て実際のデータではない。

図表 12 ICT ツールの社会的インパクト評価に関する機能項目対応一覧

社会的インパクト評価における機能項目		評価に関する教育	計画	収集・測定	分析	報告	公開・共有	サポート
プロセス網羅型	1	Sinzer	◎	◎	◎	◎	○	◎
	2	Socialsuite	◎	◎	◎	◎	—	◎
	3	SAMETRICA	◎	◎	◎	◎	—	◎
	4	KI-Projects	◎	◎	◎	◎	—	◎
	5	newdea	○	○	◎	◎	—	◎
計画特化型	6	Global Value Exchange	◎	◎	—	—	◎	—
	7	Outcomes Matrix	◎	○	—	—	◎	—
比較特化型	8	B Analytics	—	○	◎	◎	◎	◎
プロジェクト管理型	9	Salesforce	—	—	◎	◎	○	◎
費用便益分析特化型	10	Social Profit Calculator	○	○	◎	◎	—	◎

⁷用語集 No.31 参照

⁸用語集 No.26 参照

図表 13 ICT ツールの社会的インパクト評価に関する機能項目対応の判断基準

	◎	○	—
評価に関する教育	評価ガイドラインやウェブセミナー ⁹ が無償で公開されている場合	評価ガイドラインやウェブセミナーが有償の場合	なし
計画	アウトカム項目・指標の提案、ロジックモデル等のフレームワーク作成機能のいずれもある	アウトカム項目・指標の提案、ロジックモデル等のフレームワーク作成機能のいずれかがある	アウトカム項目・指標の提案、ロジックモデル等のフレームワーク作成機能いずれもなし
収集・測定	収集・測定がツール上で可能	/	収集・測定がツール上で不可能
分析	ダッシュボード ¹⁰ 上で自動グラフ化・視覚化が可能		ダッシュボード上で自動グラフ化・視覚化が不可能
報告	インパクトレポートの作成が可能	簡易レポート（ダッシュボード上でのグラフや数値のまとめ）の作成が可能	なし
公開・共有	実施主体の情報が公開・共有される仕組みがある	ツール提供側がいくつかの社会的インパクト評価の事例をウェブサイト上で公開している	なし
サポート	電話・メール等のサポートがある		なし

なお、利用料金等で外貨が含まれる場合、下記レートを適用している。

図表 14 外貨の円換算

外貨	円換算（円） ¹¹
米ドル	110
ユーロ	130
ポンド	150

⁹ 用語集 No.18 参照

¹⁰ 用語集 No.27 参照

¹¹ 2018年3月8日現在の為替レート（1ドル=106円、1ユーロ=131円、1ポンド=147円）を参考に四捨五入した。